

坂口 憲一郎情報

No67

(2022 年 8 月 16 日配信)

NHK ラジオ深夜便 「明日へのことば」 8 月 23 日 (水) 4 時台

出羽 仁 書籍偏者

「家族で遺した父の抑留日記」

聞き手 坂口憲一郎



—英連邦戦没者墓地(横浜市保土ヶ谷区)—

写真提供: [POW 研究会 POW Research Network Japan](#)

日本で生まれ育ったイギリス国籍の青年が、日本の真珠湾攻撃の日、突然、特高警察に拘束され、終戦の日まで 4 年近く抑留される。日本大好きで、医学研究の道を目指して日本の医科大学で学び始めたばかりだった。日本の 21 か所の抑留所には、876 人の民間人が、敵国人として拘束され、出羽仁さんの父親もその一人でした。父親は、克明な抑留所日記を遺していました。日記には、家族には思いもよらぬ抑留生活が記されていました。日記は、後世の人たちが戦争の一面を知るうえで貴重だと思い、出羽さんは、妹や叔父と協力して、20 年以上をかけて、日本語と英語対訳の書籍にまとめたのです。

出羽仁さんに、父の日記から何を感じ、その思いを語っていただいた。